

## ◎ WRC 第12戦 ウェールズ・ラリーGB ペター・ソルベルグ(Subaru-Motul)が土壇場の大逆転！ S.ローブ(シトロエン)との一騎打ちを制す！ (9/17-19)

WRC(世界ラリー選手権)ウェールズ・ラリーGBは昨年までは毎年最終戦として長く伝統を誇っていたが、今年はカレンダーが改正され9月開催に変更になった。季節的には秋にあたり、にこれまでよりドライで温暖な気候が予想されていた。

またペター・ソルベルグは2002年、2003年とこのイベントを連覇しており、スバルにとってもソルベルグにとっても相性は抜群。3連覇が期待された。

レグ1で、天候は雨と霧とマディなグラベルとなったが、ペター・ソルベルグは3回のステージウインを飾り、8.4秒差でセバスチャン・ローブ(シトロエン)に続く2位につける。

レグ2では3位との差も広がり、ソルベルグとローブの一騎打ちの様相となってくる。ソルベルグはまた3回のステージウインを飾り、ローブに7.3秒差と詰める。好調の波に乗るソルベルグは最終日に全てをかけ、レグ3ではラスト3ステージで、ペターは脅威のドライビングを見せ、一気に3.5秒差につける。続くステージで、しかも後半で一気にローブを逆転、5.7秒差をつけトップに躍り出、そのままフィニッシュ。見事ラリーGB3連覇を達成した。

ソルベルグも、「記憶の中で最もハードでベストフィニッシュのひとつ」とコメント。誰にも文句のない勝利であった。

チームメイトのミツコ・ヒルボネンも好調な走りを見せ、総合7位でこのイベントの初完走と健闘した。

次戦は10月1-3日、ラリー・ド・イタリア・サルジニア(イタリア)。



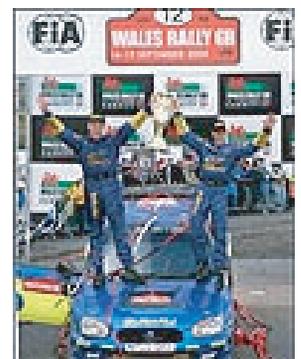
Copyright © STI



Copyright © STI



Copyright © STI



Copyright © STI